

1 「女性から選ばれる職場プロジェクト」の進捗及び今後について

(1) 設置経緯

国では、女性の地方から都心部への転出による地方衰退を課題とし、「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」を政府の重点方針、いわゆる女性版骨太の方針2025で示しました。

「選ばれるまち苦小牧」を掲げる本市と趣旨が合致すること、また、令和7年8月に金澤市長がイクボス宣言をしたところであり、男女平等参画をさらに推進する取組として令和7年9月、市役所内に金澤市長をリーダーとして「女性から選ばれる職場プロジェクト」（以下「プロジェクト」という。）を設置しました。

(2) 取組内容

- ・4月27日 プロジェクトに対して、ワーキンググループの協議内容中間報告（予算に関係する内容を含むため、継続協議）
- ・5月29日 プロジェクトメンバーにおいて、女性の健康課題等に対する相互理解促進として生理痛VR体験研修を実施

生理痛VR体験は、下腹部に電極パッドを貼り、電気刺激によって生理痛を疑似体験できる機械「ピリオノイド」を使用しました。



スイッチを入れると方々から「イテテテッ!」「立ってられない!」等の感想と「これは大変だ」と共感の声が聞かれました。

（痛みに顔をゆがめ、腰をかがめる体験者の様子）

【体験者の声】

- ・耐え難いつらさで、仕事に集中できないと感じた。女性は仕事につらくても平静を装っていることが多々あるのではと感じた。
- ・直立していられないほど痛かった。このような痛みが毎月来ると考えると憂鬱になることを理解できる。

(3) 今後の取組予定

- ・プロジェクトは、令和8年8月をもって終了予定
- ・8月以降は、市と市内事業者による会議を定期的に行う
- ・会議のテーマは女性活躍とし、テーマに対して市と市内事業者が共通の目標を設定するなどして、それぞれが女性活躍に資する取組を推進する
- ・目標は、可能な限り数値化するなどして、推進状況の見える化をはかる
- ・市役所だけでなく、市内事業者と取組を進めることで、地域として選ばれるまちを目指す